



2021年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年3月9日

上場会社名 サトウ食品株式会社

上場取引所 東

コード番号 2923 URL <http://www.satosyokuhin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 元

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 近藤 充

TEL 025-275-1100

四半期報告書提出予定日 2021年3月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期第3四半期の連結業績(2020年5月1日～2021年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第3四半期	38,171	9.1	2,277	109.2	2,472	97.4	1,669	112.8
2020年4月期第3四半期	34,985	3.9	1,088	△30.6	1,252	△26.7	784	△32.4

(注)包括利益 2021年4月期第3四半期 1,771百万円 (130.3%) 2020年4月期第3四半期 769百万円 (△22.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第3四半期	330.92	—
2020年4月期第3四半期	155.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年4月期第3四半期	39,038	15,037	38.5
2020年4月期	32,621	13,468	41.3

(参考)自己資本 2021年4月期第3四半期 15,037百万円 2020年4月期 13,468百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2021年4月期	—	0.00	—	—	—
2021年4月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年4月期の連結業績予想(2020年5月1日～2021年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,780	2.0	1,550	62.6	1,780	57.4	1,170	69.8	232.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、本日発表の「2021年4月期通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年4月期3Q	5,075,500 株	2020年4月期	5,075,500 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年4月期3Q	31,555 株	2020年4月期	31,499 株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年4月期3Q	5,043,972 株	2020年4月期3Q	5,044,130 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. その他	8
(1) 役員の変動	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が終息の兆しを見せず、政府による2度目の緊急事態宣言が発出された事で、経済活動の急激な変化や感染の再拡大の懸念から、依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、新型コロナウイルスへの感染防止策として政府が打ち出した外出自粛要請などを背景に、家庭内消費食品への需要が一時的に増加したものの、新型コロナウイルス感染禍、従業員の安全の確保とお客様への万全の供給体制の整備を最優先としたオペレーションを余儀なくされており、各種コストが上昇基調にあることや、先行き不透明な経済状況の中で、雇用の悪化、個人消費・購買力低下も見込まれることから、引き続き厳しい経営環境が続くものと予想しております。

このような状況のもと、当社グループは引き続き、安全・安心に重点をおいた包装米飯及び包装餅製品の安定供給、並びに適正価格での販売に努めることを基本に事業活動を推進してまいりました。

おいしさの追求はもちろんのこと、お客様の消費動向を捉えながら、多様化するニーズに対応可能な生産体制の整備を進めるとともに、新しい生活スタイルに対応すべく、時短・簡便をキーワードとした新たな食創造を提案し、全社一体となった営業活動に取り組むことで業績の拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした内食需要の高まりもあり、包装米飯及び包装餅製品ともに主力製品を中心に堅調に推移したことから、前年同期比31億85百万円増の381億71百万円(前年同期比9.1%増)となりました。

利益面につきましては、売上高の増加に加え、生産性の向上により売上総利益が増加した結果、営業利益は22億77百万円(前年同期営業利益10億88百万円)、経常利益は24億72百万円(前年同期経常利益12億52百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億69百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益7億84百万円)となりました。

売上高、利益面とも前年同期に比べて大幅な増加であり、第3四半期連結累計期間としては過去最高の実績となりました。

『当社グループの四半期業績の特性について』

当社グループは主力製品である包装餅が季節商品(特に鏡餅)であり、その販売が年末に集中するため、第3四半期連結会計期間の売上高及び利益が他の四半期連結会計期間に比べ著しく増加する傾向があります。

また、当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しておりますが、製品分類別における販売の動向は以下のとおりであります。

製品分類別の販売動向

(包装米飯製品)

包装米飯製品では、簡便性や保存性の高さから需要拡大傾向が続く中、2019年6月に竣工した新米飯工場「サトウのごはん聖籠ファクトリー」の本格稼働により生産体制が整ったため、商品のバリエーション強化を目的に、新商品として「九州産ひのひかり」、並びに復活商品として「会津産コシヒカリ」や「国内産コシヒカリ」を発売いたしました。

さらに、長年にわたる炊飯に関する研究や風味・食感を保つための保存試験により、賞味期限の1年への延長が実証されたため、2020年8月1日製造分より、サトウのごはん全自社ブランド商品の賞味期限をこれまでの10か月から1年へ延長し(一部製品を除く)、近年国際的な課題の一つとして挙げられている食品ロスの削減にも取り組んでまいりました。

これらの取り組みとともに、当社製品が日本古来の炊飯方法を忠実に再現した独自の製造技術(厚釜ガス直火炊き)により、電子レンジ2分で家庭と同様の炊き立てのごはんを再現できることや、製品名に原料米の産地銘柄を明確に表示していることがお客様の利便性及び安全・安心意識に確実に浸透し、新型コロナウイルス感染禍の新しい生活スタイルの中、喫食機会が増えたことで、新規顧客層は確実に増えてまいりました。こうした、昨今の生活スタイルの変化を背景とした内食需要の高まりが影響し、売上高は堅調に推移いたしました。

その結果、包装米飯製品の売上高は185億84百万円(前年同期比10.9%増)となり、第3四半期決算としては、10期連続で過去最高売上高を更新しました。

(包装餅製品)

包装餅製品では、当社グループのみが個包装に使用している酸素を吸収する「ながモチフィルム」の特徴(鮮度保持剤なしでつきたての美味しさを24か月保持)を女優の芦田愛菜さんが可愛らしく紹介するCMや、切り餅「いっぼん」のスティック形状を活かした様々な食べ方を消費者の皆様に提案するCMを8月より全国放映し、冬の食べ物とのイメージが漠然と定着していたお餅に、お正月以外の登場シーンが増え、“もち”の価値を再認識していただけるきっかけとすることで、当社グループ商品の販売拡大に努めました。

鏡餅については、全体の傾向としてダウンサイジングが進んでまいりました。気軽に飾って頂ける小飾りシリーズのアイテムの充実をさせ、新型コロナウイルス感染症収束の祈りを込め、SNSでの拡散により話題となっている「アマビエ」をモチーフとしたパッケージ商品を新たに追加したことも市場に広く受け入れられました。

加えて、らくポイシリーズやサッとタイプの化粧箱を赤基調のパッケージに一新することで更に華やかにするなど、年末の最需要期に向けた取り組みを積極的に推し進めると共に、鏡餅のテレビCMを11月から全国放映し、販売拡大に努めました。

また、鏡餅を店舗で陳列する際の開封作業の軽減を目的として、段ボールを開封するとそのまま商品の陳列ができる「らくらくパッケージ(SRP対応段ボール)」を新たに採用し、取扱店の拡大に努めました。

これらの取り組みのほか、包装米飯製品同様に新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした内食需要の高まりもあり、売上高は堅調に推移いたしました。

その結果、包装餅製品の売上高は195億7千万円(前年同期比7.5%増)となり、第3四半期決算としては、4期連続で過去最高売上高を更新しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は202億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ66億14百万円増加いたしました。これは主に流動資産のその他(未収消費税等)が5億8百万円、仕掛品が4億85百万円、原材料及び貯蔵品が2億77百万円それぞれ減少したものの、受取手形及び売掛金が79億58百万円増加したことによるものであります。

固定資産は187億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億97百万円減少いたしました。これは主に基幹システムの再構築にとまない、無形固定資産(ソフトウェア仮勘定等)が3億80百万円増加したものの、減価償却の進行にとまない有形固定資産が5億93百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は390億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ64億16百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は166億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ51億43百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が6億53百万円減少したものの、運転資金としての短期借入金が32億円、未払金が18億27百万円、流動負債のその他(未払費用、未払消費税等)が3億20百万円、未払法人税等が3億2百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は73億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億96百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少によるものであります。

この結果、負債合計は240億円となり、前連結会計年度に比べ48億47百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は150億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億69百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、利益剰余金が14億67百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は38.5%(前連結会計年度末は41.3%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、2020年9月7日に公表いたしました2021年4月期通期(2020年5月1日～2021年4月30日)の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2021年4月期通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、2021年1月7日に政府により新型コロナウイルス感染症に関する2度目の緊急事態宣言が行われましたが、新型コロナウイルス感染症拡大は類稀な事態であり、現時点ではその影響を合理的に見積もることは困難であるため、本日修正しました業績予想には織り込んでおりません。今後、開示すべき事象が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	306,477	189,111
受取手形及び売掛金	8,443,834	16,402,017
商品及び製品	1,791,935	1,843,483
仕掛品	653,359	167,746
原材料及び貯蔵品	1,894,882	1,617,465
その他	580,182	71,196
貸倒引当金	△6,850	△13,050
流動資産合計	13,663,821	20,277,971
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,844,538	5,666,388
機械装置及び運搬具(純額)	6,157,832	5,727,410
土地	2,346,415	2,343,599
その他(純額)	424,173	442,075
有形固定資産合計	14,772,960	14,179,474
無形固定資産	174,022	554,267
投資その他の資産		
投資有価証券	1,149,288	1,336,034
投資不動産(純額)	2,368,015	2,352,887
その他	521,135	365,215
貸倒引当金	△27,260	△27,260
投資その他の資産合計	4,011,179	4,026,877
固定資産合計	18,958,162	18,760,620
資産合計	32,621,984	39,038,591

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,218,516	565,146
短期借入金	3,750,000	6,950,000
1年内返済予定の長期借入金	2,121,742	2,319,912
未払金	2,971,477	4,798,755
引当金	410,544	358,853
未払法人税等	269,700	572,430
その他	741,098	1,061,229
流動負債合計	11,483,079	16,626,327
固定負債		
長期借入金	6,548,076	6,281,186
引当金	58,649	63,274
退職給付に係る負債	806,377	809,687
その他	257,706	220,441
固定負債合計	7,670,809	7,374,590
負債合計	19,153,888	24,000,918
純資産の部		
株主資本		
資本金	543,775	543,775
資本剰余金	506,000	506,000
利益剰余金	12,018,385	13,485,776
自己株式	△36,715	△36,938
株主資本合計	13,031,445	14,498,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	520,063	600,110
退職給付に係る調整累計額	△83,413	△61,051
その他の包括利益累計額合計	436,650	539,059
純資産合計	13,468,095	15,037,672
負債純資産合計	32,621,984	39,038,591

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2020年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年5月1日 至2021年1月31日)
売上高	34,985,935	38,171,037
売上原価	20,961,267	22,209,011
売上総利益	14,024,668	15,962,025
販売費及び一般管理費	12,936,321	13,684,985
営業利益	1,088,346	2,277,040
営業外収益		
受取賃貸料	145,770	146,484
副産物収入	67,904	83,602
その他	96,535	115,625
営業外収益合計	310,210	345,712
営業外費用		
賃貸費用	70,191	66,114
その他	75,432	83,712
営業外費用合計	145,623	149,827
経常利益	1,252,933	2,472,924
特別損失		
災害による損失	63,937	-
固定資産売却損	-	1,354
特別損失合計	63,937	1,354
税金等調整前四半期純利益	1,188,996	2,471,570
法人税、住民税及び事業税	344,024	741,752
法人税等調整額	60,488	60,665
法人税等合計	404,513	802,418
四半期純利益	784,483	1,669,151
親会社株主に帰属する四半期純利益	784,483	1,669,151

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)
四半期純利益	784,483	1,669,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46,486	80,047
退職給付に係る調整額	31,106	22,361
その他の包括利益合計	△15,380	102,409
四半期包括利益	769,102	1,771,561
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	769,102	1,771,561
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 役員の変動

本日、別途適時開示しております「役員人事および主要人事に関するお知らせ」をご覧ください。